

各種イベント、ボランティア活動等を行いました！

『固有種保全活動啓発 シンボルマーク決定』

環境省

小笠原中学校2年生の美術の授業で、小笠原世界遺産センターなどで行う固有種保全活動の啓発シンボルマークの制作を行いました。

厳正なる審査の結果、最優秀賞に選ばれた右の作品は今後1年間、普及啓発活動の広報で使用する予定です。



残念ながら最優秀賞には届かなかった作品も小笠原世界遺産センターで展示していますので、ぜひ見学にお越しください！

西島外来植物駆除ボランティア

小笠原村

父島の北西に位置する西島では、在来植生の回復や固有の陸産貝類の保全のため、外来樹木の駆除やネズミ対策が行われています。

このような状況を皆さんに知ってもらうため、12月

14日に当イベントを開催し、参加者・スタッフ22名に参加いただきました。

モクマオウやシマサルズベリを駆除したり、小さなカタツムリを探索したりと、西島の“今”を楽しんで体感していただきました。



今後のお知らせ



遺産センター植物企画展 1月8日～31日

小笠原世界遺産センターでは、世界自然遺産の価値として、貴重な小笠原固有の植物をポスターや生体展示などでご紹介します（ドック期間中は平日のみ開館）。

また、**1月10日（金）** 19時から遺産センターにおいて、東大植物園の研究員による講演会も実施します。ぜひお越しください。（環境省）

南島外来ネズミ類全域駆除の実施

南島に生息する外来ネズミ類の根絶を目的に、南島全域において人力による殺鼠剤散布駆除を南島入島禁止期間中に実施する予定です。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

（東京都）

愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例 意見募集と住民説明会開催

小笠原村では、イヌ・ネコに限らず、モルモットやカメ・鳥・熱帯魚・昆虫などのペットとして飼われている動物の適正飼養の推進や、ペット等が野生下に放たれ、外来生物となって生態系に影響を及ぼさないようにするための具体的な制度として「愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例」の検討作成を進めてきました。このたび同条例（素案）をとりまとめ、村民の皆さまのご意見をお聴きするため、

1月20日（月）から2月10日（月）までの間、持参、郵送、FAX、メールにより、ご意見を募集いたします。同条例は、小笠原村環境課のホームページもしくは同課の窓口、母島支所の窓口にて閲覧できます。詳細は村民だより1月号または同課ホームページをご覧ください。

また、**2月15日（土）** 18時から母島支所大広間、**16日（日）** 18時から村役場本庁2階会議室において住民説明会を開催します。詳細は村民だより2月号や掲示板にてお知らせします。（小笠原村）

兄島視察会の開催 2月23日（日）

父島からわずか数百mしか離れていないにもかかわらず、世界でここにしかないカタツムリや昆虫の楽園である兄島では、それらの生き物を守るため、アノールやネズミなどの対策を行っています。

これらの現場や自然や生き物の状況を皆さんに見てもらうため、当イベントを開催します。詳細は村民だより2月号や掲示板にてお知らせします。（小笠原村）

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所（世界遺産センター）

Tel/Fax：04998-2-7174/7175

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター

Tel/Fax：04998-2-3403/2650

東京都小笠原支庁

Tel/Fax：04998-2-2167/2302

小笠原村環境課

Tel/Fax：04998-2-3111/3222

世界遺産に関する情報は、下記のホームページをご覧ください。

小笠原自然情報センターHP：<http://ogasawara-info.jp/>



小笠原自然情報センターだより

小笠原諸島世界自然遺産地域連絡会議 事務局 第25号2020年1月発行

台風21号の被害・復旧状況（兄島、南島）

10月24日に小笠原諸島付近を通過した台風21号により、父島及び母島では停電や家屋被害等が発生しました。被害を受けた方々にお見舞い申し上げます。

世界遺産関係の施設でも各所に被害が出ました。今号は、主な施設等の被害・復旧状況をご報告いたします。なお、情報はいずれも12月13日時点のものです。また、ここでは村民のみなさんに関わりの深い内容を抜粋してご紹介します。

兄島・南島

<希少昆虫類の保全>

グリーンアノール侵入防止柵、トラップ

～希少昆虫が多く残されている兄島において、南部で密度の高いアノールを北部へ侵入させないため、島を横断する3本の柵を設置しています～

・捕獲トラップの多くが落下・消失。
・アノール侵入防止柵Aラインの全線、Bラインの西半分と東端、Cラインの東端が倒壊し、広範囲にわたって破損。

⇒グリーンアノールの北上を極力防ぐため、優先順位をつけ、応急的な復旧作業を実施しました。Bラインの本格的な再整備は次年度以降になる見込みです。

<陸産貝類の保全>

ネズミ対策用ベイトステーション

～固有の陸産貝類を捕食するネズミ類の低密度化を図っています～
・一部が消失・破損
⇒確認・再設置作業を進めています。

修復前



修復後



修復前



修復後



ベイトステーション・センサーカメラ

・強風により島内に飛散。
⇒ベイトステーションとセンサーカメラを回収し、再設置を進めています。

南島

台風21号の被害・復旧状況（父島、母島）

父島

※園地・歩道のトピックは被害状況の一部であり、その他の箇所に被害がなかったわけではありません。

希少鳥獣の保全 ノネコ捕獲対策

・作業ルートへの倒木等により一時中断。
⇒捕獲作業を少しずつ再開しています。

釣浜・電信山歩道

・歩道の倒木処理を実施
⇒歩道開通済みです。

被害状況



被害状況



被害状況



被害状況



父島海岸線歩道

・歩道の倒木処理を実施
⇒歩道開通済みです。

オガグワの森

・折れ枝等が発生。
⇒林内の整理を完了し、通常通り開放しています。

東平サンクチュアリ

・倒木や看板の倒壊が発生しましたが、通行可能です。
⇒ルート2は11/1～入林禁止期間です

東平ノヤギ・ノネコ 進入防止柵

・都道沿い、初寝浦海岸部が大きく損壊。
⇒年度内の応急的な復旧を目指しています。

千尋岩

指定ルート

・倒木、枝折多数。ガイドさんのご協力を得て、千尋岩ルートは復旧済み。
⇒巽本線の被害甚大。他のルートも含めて、年度内の復旧を目指しています。

被害状況



被害状況



母島

北港園地

・屋根材の飛散、外柵の一部破損
⇒令和2年度に改修予定です。

被害状況



被害状況



新夕日ヶ丘アノール侵入防止柵

・支柱や柵の破損、倒木。
⇒倒木の整理や通電回復等の作業が完了しています。

修復前



修復後



母島の森

・折れ枝等が発生。
⇒林内の整理を完了し、通常通り開放しています。

南崎ネコ侵入防止柵

・ほぼ全壊。
⇒残骸を整理の上、今後の対応を検討中です。

指定ルート

・桑ノ木山ルート、石門ルートは、被害が甚大でしたが、ほぼ復旧しました。
⇒石門は入林禁止期間です。他のルート（東台・西浦）は年度内復旧の予定です。

石門希少植物保全対策

・タイヨウフウトウカズラ植栽株のネズミ進入防止柵が損壊。
・ホシツルランやヒメタニワタリの生育地では林冠樹木の落葉が見られ、林床が明るくなっている。
⇒ネズミ進入防止柵は今後再設置を予定しています。林床が明るくなった箇所の一部には寒冷紗を一時的に設置しています。

ノネコ捕獲対策

・一時飼養施設が損壊し、使用不可の状態。
⇒捕獲体制が整い次第、再開予定です。

被害状況



指定ルート等の復旧対応にご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。また、被災状況が大きいため、優先順位をつけて復旧等を目指していきます。